

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公表番号】特表2009-517345(P2009-517345A)

【公表日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2008-541550(P2008-541550)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/22 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/22

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月27日(2009.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

必要としている対象において創傷治癒を促進するための、創傷治癒に有効な量のインゲノール(ingenol)化合物またはその薬学的に許容される塩を含む薬学的組成物。

【請求項2】

それを必要としている対象の創傷における瘢痕組織を低減もしくは最小化するまたは美容もしくは機能転帰を改善するための、瘢痕を低減するもしくは最小化する量または美容もしくは機能を改善する量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩を含む薬学的組成物。

【請求項3】

必要としている対象において皮膚線維芽細胞および/またはケラチノサイトの表現型応答を調節するための、調節に有効な量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩を含む薬学的組成物。

【請求項4】

それを必要としている対象の創傷部位で皮膚線維芽細胞および/またはケラチノサイトの表現型応答を調節するための、調節に有効な量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩を含む薬学的組成物。

【請求項5】

それを必要としている対象において一つまたは複数のサイトカインの産生を調節するための、調節に有効な量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩を含む薬学的組成物。

【請求項6】

それを必要としている対象の創傷部位で一つまたは複数のサイトカインの産生を調節するための、調節に有効な量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩を含む薬学的組成物。

【請求項7】

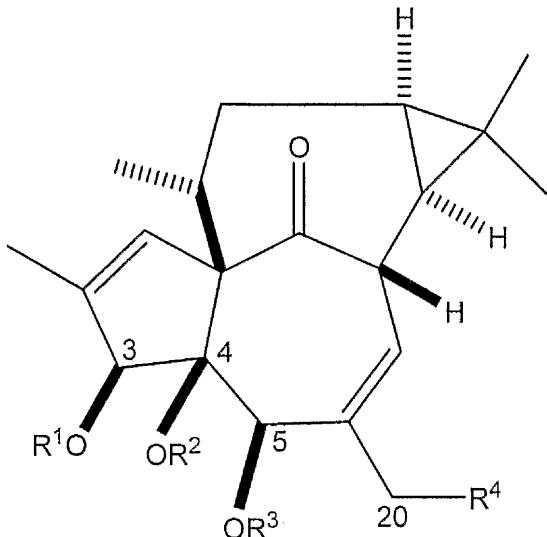
一つまたは複数のサイトカインが、IL-1、IL-2、IL6、IL-8、およびTNF-からなる群より選択される、請求項5または6記載の薬学的組成物。

【請求項8】

インゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩が、創傷に局所適用されるための、請求項1~7のいずれか一項記載の薬学的組成物。

【請求項9】

インゲノール化合物が下記の式を有する、請求項1~8のいずれか一項記載の薬学的組成物：



式中

R1~R3は、水素、置換されていてもよいアルキル、置換されていてもよいアルケニル、置換されていてもよいアルキニル、置換されていてもよいアシル、置換されていてもよいアリールアルキル、S(O)2R'、S(O)2OR'、P(O)(OR')2(ここでR'は水素、アルキル、アルケニル、アルキニル、アシル、アリール、またはアリールアルキルである)、およびグリコシルから独立に選択され；R4は、水素、ヒドロキシ、置換されていてもよいアルコキシ、置換されていてもよいアルケノキシ(alkenoxy)、置換されていてもよいアルキノキシ(alkynoxy)、置換されていてもよいアシルオキシ、置換されていてもよいアリールアルコキシ、S(O)2R'、OS(O)2OR'、OP(O)(OR')2(ここでR'は水素、アルキル、アルケニル、アルキニル、アシル、アリール、またはアリールアルキルである)、およびグリコキシ(glycoxy)から選択される。

【請求項10】

化合物が、インゲノール-3-アンゲレート(angelate)、20-O-アセチル-インゲノール-3-アンゲレート、および20-デオキシ-インゲノール-3-アンゲレート、ならびにその薬学的に許容される塩から選択される、請求項9記載の薬学的組成物。

【請求項11】

化合物がインゲノール-3-アンゲレートである、請求項10記載の薬学的組成物。

【請求項12】

創傷が、切創および裂創、外科的切開、穿刺、擦過傷、引っ掻き傷、圧迫創、表皮剥脱、摩擦創、慢性創傷、潰瘍、熱による創傷、化学的創傷、病原体感染が原因の創傷、皮膚移植(graft)/移植(transplant)供与および受容部位、免疫応答状態、口腔創傷、胃または腸創傷、軟骨または骨の損傷、切断部位、ならびに角膜傷害からなる群より選択される、請求項1~11のいずれか一項記載の薬学的組成物。

【請求項13】

創傷が皮膚創傷である、請求項12記載の薬学的組成物。

【請求項14】

創傷が慢性創傷である、請求項12または13記載の薬学的組成物。

**【請求項 15】**

創傷が糖尿病関連創傷である、請求項14記載の薬学的組成物。

**【請求項 16】**

創傷治癒を促進するための薬剤の製造における、創傷治癒に有効な量のインゲノール(ingenol)化合物またはその薬学的に許容される塩の使用。

**【請求項 17】**

創傷における瘢痕組織を低減もしくは最小化するまたは美容もしくは機能転帰を改善するための薬剤の製造における、瘢痕を低減するもしくは最小化する量または美容もしくは機能を改善する量のインゲノール化合物の使用。

**【請求項 18】**

皮膚線維芽細胞および/またはケラチノサイトの表現型応答を調節するための薬剤の製造における、調節に有効な量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩の使用。

**【請求項 19】**

創傷部位で皮膚線維芽細胞および/またはケラチノサイトの表現型応答を調節するための薬剤の製造における、調節に有効な量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩の使用。

**【請求項 20】**

一つまたは複数のサイトカインの産生を調節するための薬剤の製造における、調節に有効な量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩の使用。

**【請求項 21】**

創傷部位で一つまたは複数のサイトカインの産生を調節するための薬剤の製造における、調節に有効な量のインゲノール化合物またはその薬学的に許容される塩の使用。